

第40回ATP賞テレビグランプリ



会 期：2024年8月8日（木）
 会 場：東京プリンスホテル 「プロビデンスホール」
 主 催：（一社）全日本テレビ番組製作社連盟
 後 援：総務省／経済産業省／日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟
 公式サイト URL：https://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_040.php

総来場者数（参加数）：281人
 プレス社数：11社

■開催内容

『ATP賞テレビグランプリ』は、日本の映像コンテンツ産業の重要な担い手となっている製作会社の社会的機能を高め、そこで働く制作スタッフ一人ひとりの情熱や気概に応えるために、創り手である製作会社のプロデューサーやディレクターが自ら審査委員となって優れた作品を選ぶ、日本で唯一の賞として1984年に創設された。ドキュメンタリー部門、情報・バラエティ部門、ドラマ部門の3つのジャンルを基幹部門として作品を募集し、受賞式にて最高賞のグランプリを決定する。2024年度の『第40回ATP賞テレビグランプリ』は、8月8日（木）東京プリンスホテルにて開催した。今年の部門賞応募総数は168本、栄えあるグランプリは、3部門の最優秀賞の中からATP会員社の投票によって選ばれ、金曜ドラマ「不適切にもほどがある！」（TBSスパークル／TBS）に輝いた。新人賞の応募総数は20名。優秀新人賞3名の中から、会員社の投票によって富田玲央（パオネットワーク）レギュラー番組への道「危険なささやき」（パオネットワーク、NHKエデュケーショナル／NHK総合）が選ばれた。

各部門の応募数
 ドキュメンタリー65本、情報・バラエティ63本、ドラマ40本、新人賞20本 合計188本

主な受賞作品

【最優秀賞】

ドキュメンタリー部門

新・爆走風塵「中国・トラックドライバー 生き残りを賭けて」
 （テムジン、NHKエンタープライズ／NHK BSプレミアム、NHK BS4K）

情報・バラエティ部門

市民X 謎の天才「サトシ・ナカモト」完全版（NHKエデュケーショナル／NHK BS1）

ドラマ部門

金曜ドラマ「不適切にもほどがある！」（TBSスパークル／TBS）

【優秀新人賞】

富田 玲央（パオネットワーク）

レギュラー番組への道「危険なささやき」（パオネットワーク、NHKエデュケーショナル／NHK総合）

岩元 晴香（メディア・メトル）情熱大陸「機能神経外科医 山本一徹」（メディア・メトル／毎日放送）

任 ソリブ（テムジン）

Asia Insight「ネパール 海外出稼ぎ大国の現実」（テムジン、NHKグローバルメディアサービス／NHK BS1）

【総務大臣賞】

「鷹を継ぐもの」（テムジン、NHKエデュケーショナル／NHK BSプレミアム、NHK BS4K）



第40回ATP賞テレビグランプリ



【特別賞】

堺 正章（タレント、司会者、歌手）
TARAKO（ナレーター、声優）
山口 秀矢（元えふぶんの壱取締役会長、プロデューサー）
「新しいカギ」制作チーム
「花嫁のれん」制作チーム
「ヒロシのぼっちキャンプ」制作チーム

■ 2024年度の新規取り組みとその成果・特色など

40周年を記念して、若手クリエイターズフォーラムを実施した。『Jコンテンツの近未来～自分を突き動かすもの』をテーマに、ATP会員社から下記4名のクリエイターが登壇し、パネルディスカッションを行った。会場には80名を超える会員社や大学生が参加し、フォーラム終了後には懇親会を行い、若手クリエイターの情報交換や交流の場として貴重な時間になった。

ドキュメンタリー部門 柳田 香帆（テムジン）、丸山 梓（NHKエンタープライズ）
バラエティ部門 野中 翔太（日テレ アックスオン）
ドラマ部門 天宮沙恵子（TBS スパークル）

■ 他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

一昨年、日本の団体で初めてパートナーシップを締結した韓国・釜山国際映画祭併設の「アジアコンテンツアワード&グローバルOTTアワード」（略称：ACA / Asia Contents Awards & Global OTT Awards）よりエレン・キム委員長をお招きし、ATP賞のグランプリ投票や受賞式にて祝辞を頂戴し相互の交流を深めた。



福浦理事長 挨拶



グランプリ「不適切にもほどがある！」



総務大臣賞「鷹を継ぐもの」



最優秀新人賞 富田玲央